



田母神前 空幕長の侵略美化を許さない

自衛隊の海外派兵軍化と士気高揚がねらい

歴代自民党政治の責任重大 徹底究明を求めます

「日本が侵略したというのは濡れ衣」「憲法を変えたほうがいい」「武器を使えるようにしたほうがいい」……航空自衛隊の最高幹部・田母神俊雄・前航空幕僚長が暴走しています。日本と世界の平和と民主主義に対する挑戦であり、許せません。

戦後政治の出発と憲法を否定

日本は、戦後、侵略戦争を反省し平和憲法を誓って再出発しました。日本がかつて朝鮮を植民地にし、中国やアジア諸国に侵略したことは、歴史の事実であり、政府も認めていることです。戦後の出発の原点を否定し、憲法をないがしろにする田母神前空幕長の主張は、世界ではまったく通用しない暴論です。

自衛隊で組織ぐるみの偏向教育

田母神前空幕長は、みずからの主張を広げるために、各地の自衛隊基地で「講話」「訓話」をおこない、最高幹部の学校で「国家観・歴史観」などのカリキュラムを新設、特異な歴史観を持ち込み・強制してきました。

田母神氏が空幕長に任命されたのは、安倍内閣時でした。みずからも侵略戦争を反省してこなかった歴代自民党政治の責任が重大です。

ねらいは自衛隊増強と海外派兵

田母神前空幕長の問題は、たんなる「歴史認識」の問題ではありません。侵略戦争の反省と憲法を否定することによって、自衛隊の士気を高め、集団的自衛権の行使禁止などの制約を取っ払い、さらに憲法を変え、海外で本格的に戦争できるようにすることがねらいです。

このような動きを、厳しく批判し止めること。これが、かつて軍部ファシズムの暴走を食い止められなかった痛苦の歴史から学ばなければならない教訓です。

徹底した究明と、政府の責任を追及しましょう。

こんな人が空自トップにいたこと事態が驚き！
外国特派員もビックリ

12月1日、田母神氏が日本外国特派員協会
で講演。田母神氏は、自説を繰り返すとともに
「あなたの考えは自衛隊内で多数派なのか」の
質問に「自衛隊は言論弾圧社会。（隊員は意見
を）表明できないが、多数は支持している
と思う」と胸を張り、原爆投下に対し
て「やられればやる」と答えました。

各国の特派員は呆然。驚き、あきれ
る声が上がりました。


